

令和3年度 第3回総合教育会議

【テーマ】

地域学校協働活動について

説明資料

秋田県生涯学習センター 社会教育主事 皆川雅仁

【前置き】 イメージ～支援、連携、協働～

支援、連携、協働をイメージしてみると…

✓ 支援は…

- 契約と似ている
- 依頼する者と依頼される者がいる
- 契約内容が履行されるとその関係は…?!

☑ 連携は…

- 試合(団体競技)と似ている
- 同じときに、各々の特性(攻守等)を生かして…
- 同じ目的(勝利)を目指す

□ 協働は…

- 登山(エベレスト登頂)と似ている
- 各々のタイミングで、各々の役割(運搬、アタック、医療、通信等)を果たして…
- 共有された目標(山頂)を目指す

法令の改正に着目して ～教基法と社教法を中心に～

初めに、教基法の大改正！

教育基本法（H18改正）を見てみると…

第一章 教育の目的及び理念

- 第一条 教育の目的
- 第二条 教育の目標
- 第三条 生涯学習の理念※新設
- 第四条 教育の機会均等
※障害のある者…新設

第二章 教育の実施に関する基本

- 第五条 義務教育
- 第六条 学校教育
- 第七条 大学※新設
- 第八条 私立学校※新設
- 第九条 教員※独立

- 第十条 家庭教育※新設
- 第十一条 幼児期の教育※新設
- 第十二条 社会教育
- 第十三条 学校、家庭及び地域
住民等の相互の連携協力※新設
- 第十四条 政治教育
- 第十五条 宗教教育

第三章 教育行政

- 第十六条 教育行政
- 第十七条 教育振興基本計画
※新設

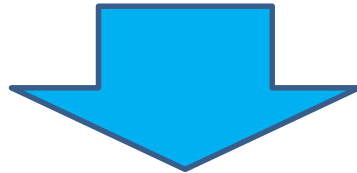
第四章 法令の制定

- 第十八条

生涯学習の理念が登場！

教育基本法 第三条（生涯学習の理念）…

- 国民一人一人が、自己の人格を磨き、**豊かな人生を送ることができるよう、**
- 生涯にわたって、**あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、**
- その**成果を適切に生かす**ことのできる社会の実現が図られなければならない。

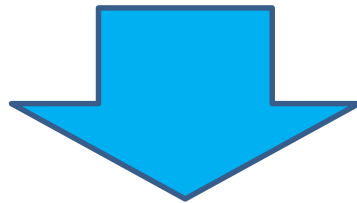


○ **豊かな人生のため、いつでも、どこでも、だれでも…学んだ成果を生かす**

社会教育ってこういうこと！

教育基本法 第十二条(社会教育)...

- **個人の要望**や社会の要請にこたえ、**社会において行われる教育** ※要請には、要望より強い意味合いが...
- **国及び地方公共団体によって奨励**されなければならない。



- 学校や家庭以外の**社会**で行われる**教育活動**
- いまは、**個人の要望**よりも社会の要請にこたえるべきときかと...?!

「社会の要請」って…?!

- 学習の成果を生かした地域活性化
- 子どもの体験活動の推進
- 学校・家庭・地域の連携・協働
- 困難を抱える家庭への支援
- 障害のある方の生涯学習
- 地域づくりの担い手
- 地域の防災教育 …



ほか・・・

学校・家庭・地域の連携（協働） がはっきりと規定！

教育基本法 第十三条（学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力）…

- **学校、家庭及び地域住民**その他の関係者は、
- 教育におけるそれぞれの**役割と責任を自覚**するとともに、
- **相互の連携及び協力**に努めるものとする。



○ **学校、家庭、地域が**それぞれの役割、責任で…
連携・協力（⇒協働）していくこと

社会教育法も少し遅れて改正！

社会教育法（H29改正）を見てみると…

第一章 総則

- 第一条 この法律の目的
- 第二条 社会教育の定義
- 第三条 国及び地方公共団体の任務
- 第四条 国の地方公共団体に対する援助
- 第五条 **市町村の教育委員会の事務**
- 第六条 都道府県の教育委員会の事務
……

第二章 社会教育主事等

……

第三章 社会教育関係団体

……

第四章 社会教育委員

……

第五章 公民館

……

第六章 学校施設の利用

……

第七章 通信教育

……

地域学校協働活動が登場！

社会教育法 第五条の2…

※H29改正で追加

- 学校の授業終了後、休業日の学習その他の活動の機会を提供する事業の実施、奨励
- 青少年に対しボランティア活動など社会奉仕体験活動、自然体験活動等の機会を提供する事業の実施、奨励
- 社会教育における学習機会による学習成果を活用した教育活動の機会を提供する事業の実施、奨励



この三つの活動で、地域住民その他の関係者が、学校と協働して行うもの（「地域学校協働活動」という）の機会を提供する事業の実施に当たっては…

社会教育が担う大事な仕事に！

地域学校協働活動に関する事業が円滑かつ効果的に実施されるよう…



- 地域住民と学校との連携協力体制の整備
- 地域学校協働活動に関する普及啓発
- その他必要な措置を講ずる

※ 「地域学校協働活動」に関する事務が、教育委員会の重要な仕事の一つになった！

地域学校協働活動って!?

例)

- 子供たちが**地域**に出て行って行う郷土学習
- 地域の人たちと一緒に**地域課題の解決**を目指す活動
- 地域の行事に参画して一緒に**地域づくり**に参画する活動

☆ 地域学校協働活動 とは・・・

幅広い地域住民等の参画により、地域と学校が共に手を携え、地域の子供たちの豊かな学びや健やかな成長と、地域活性化の双方を目指す地域と学校がパートナーとして行う活動

もう少し具体的にいうと…

例) 学校(学校教育)から見ると…

- 地域資源を理解し、**魅力を発信する学習**
- **地域活性化**のための方策を考え、実行する学習
- ふるさとについて**地域住民から学ぶ郷土学習**
- 地域の産業、伝統、文化に触れ、**地域課題に取り組む学習**

地域(社会教育)から見ると…

- 放課後等の学習機会や**多様な体験活動**=放課後子供教室
- 地域住民による**学習支援**=地域未来塾
- 寄り添いが必要な**子供、保護者への支援**=家庭教育支援チーム
- 登下校の**見守り**、**学校環境の整備**、**読み聞かせ**など
=学校への協力
- **地域行事、イベント(祭典)**、**ボランティア活動**等
=地域行事への参画

学校教育・社会教育の課題

社会教育の課題

○人口減少、高齢化、グローバル化、貧困、つながりの希薄化、社会的孤立、地方財政の悪化等の課題…

⇒ 持続可能な社会（地域）づくり

= 住民が地域運営の担い手

どうやって地域運営に参画すればいいの？

○人生100年時代、Society5.0などの変化に対して…

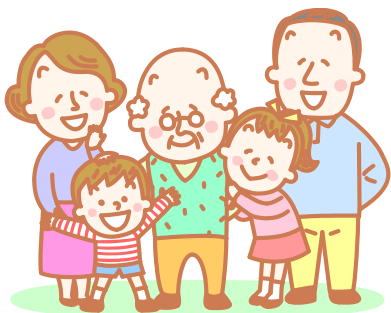
⇒ 生涯にわたる学習とその成果を生かす社会

(生涯学習社会)

学習成果をどうやって社会に生かすの？



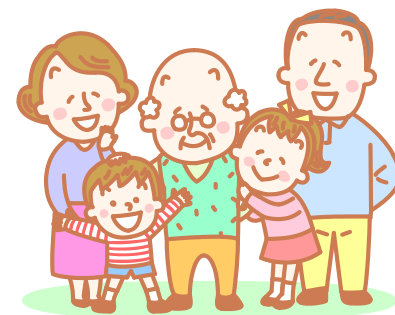
「社会教育」を基盤とした、
人づくり・つながりづくり・地域づくり



地域課題

急激な変化と多様化、複雑化

- 人口減少、高齢化、グローバル化、所得間格差、社会的孤立、地域経済の縮小、財政の悪化 等々

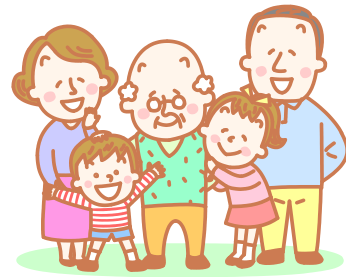


⇒ 持続可能な社会（地域）づくり

- 「タテ割り行政」等の延長上にある「タテ割り地域」、地域のつながりの希薄化、つながりの固定化 等々

⇒ 住民相互の（ヨコの）つながりづくり

社会教育の方向性



開かれ、つながる「社会教育」の実現

- 住民の主体的な参加のためのきっかけづくり
⇒ 地域学校協働活動、地域防災、健康…

どうやって
地域と学
校が共に
手を携える
の？

※幅広い地域住民等の参画により、地域と学校が共に手を携え、地域の
子供たちの豊かな学びや健やかな成長と、地域活性化の双方を目指す

- ネットワーク型行政の実質化
⇒ 社会教育行政担当部局のみで完結しがちな
「社会教育の壁」を打破
= 多様な主体との連携・協働の実現

どうやって
学校と地域を
つなげるの？

- 地域の学びと活動を活性化する人材の活躍
⇒ 社会教育主事、公民館主事、地域学校協働活動
推進員…

学校教育の課題

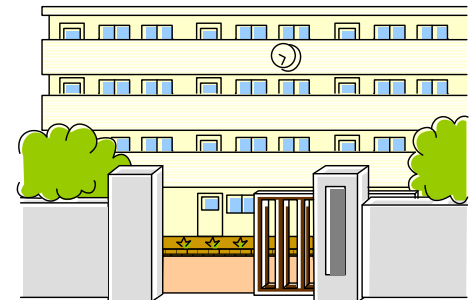
「社会に開かれた教育課程」の実現

新学習指導要領の基本的な考え方

- 子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力の育成
 - ⇒ 「その資質・能力は何か」を社会と共有
 - 教科等横断的な学習の充実
 - ⇒ 学習効果の最大化を図る
- カリキュラム・マネジメントの確立

資質・能力をどうやって共有するの？

地域資源の活用や社会教育との連携が必要だと言われているけれど、どうやって連携するの？



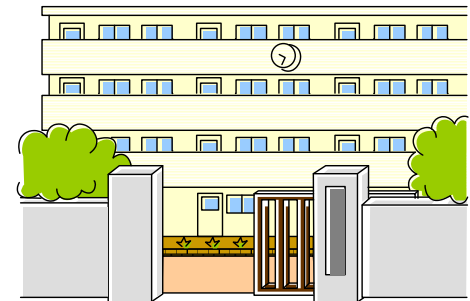
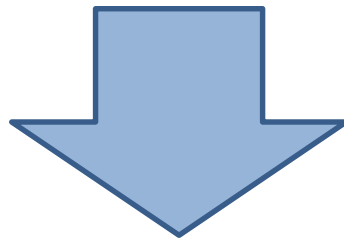
社会に開かれた教育課程

「社会に開かれた教育課程」の実現

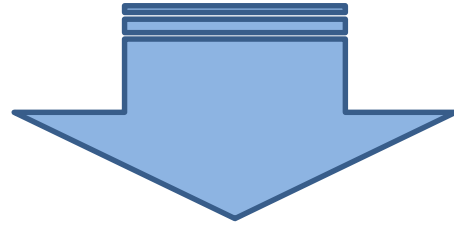
※ なぜ開く必要があるのか?!

⇒ 「よりよい学校教育を通じて
よりよい社会を創る」ため

☑ これまでは、**学校の視点**で教育課程（学校ごとの教育計画＝取扱説明書）は編成されてきた！

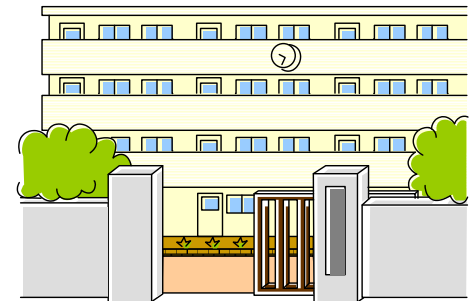


社会に開くことは協働につながる



□これからは、**地域や社会と接点をもち、
地域の人々などとのつながりの中で、
教育課程（学校ごとの教育計画＝取扱説明書）
を編成し、地域とともにある学校になる！**

⇒ 支援から連携・**協働**による
教育活動への転換の必要性



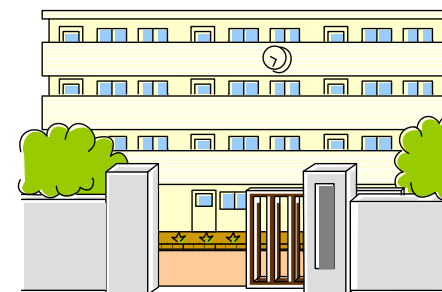
共通する課題が見えてきた!

社会教育も学校教育も課題は…



○開くこと

○つながること



そのために、私のおすすめしたいツールが…

⇒ 学校運営協議会制度（コミュニティ・
スクール） … そして、☆熟議☆

私が学校運営協議会制度 (コミュニティ・スクール)に着手した理由

私が学校運営協議会制度（CS）を導入したのは…①

- 「地域にとって学校はどんな存在か」を真剣に考えた
 - ・ **東日本大震災ボランティア** ⇒ ☆ 学校と地域の関係性
☆ 子どもたちのチカラ
- 「学校はだれのものか」を真剣に考えた
 - ・ **学校は地域の重要拠点** ⇒ 未来を担う子どもが通う
大人が学習成果を還元
☆ 交流の場→生活の場
- 「学校は地域住民にとっての誇り」ということがわかった
 - ・ **学校は地域の宝** ⇒ 持続可能性に大きな影響力
☆ 有事の際は住民生活の砦



住民と話し合って**地域学校防災協議会**を独自に設置

私が学校運営協議会制度（CS）を導入したのは…②

- **地域の特性**が教育課程に本当に活かされているか
 - ・地域の特性を再検討 ⇒ **地域住民の願い**
☆子どもたちの思い
- キャリア教育を見直す必要性に気づいた
 - ・教育課程の根幹 ⇒ **改善と教科横断**
☆**学校外活動との連携**
- 本音で話し合う機会を通してわかったこと
 - ・学校と地域の関係 ⇒ ☆**代表の温度に左右されない**
持続可能な仕組みの必要性



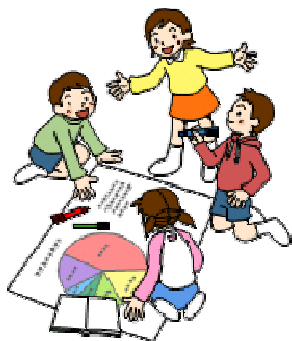
地域学校防災協議会を発展的に解消
学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の導入

コミュニティ・スクールを推進してみてわかったこと ～小学校の実践から～



学校と地域のつながりを見直すことから始めると…

- 学校と地域の50年の学びを見つめ直す
 - ・ 学びの根幹に何を据えるか ⇒ **地域の学習材**
☆ **地域の人材**
- 学校と地域の関わり方を見つめ直す
 - ・ つながりの分野を明らかに ⇒ **片方向か双方向か**
依頼か率先か
- 学校の中に地域はどれだけ入っているか
 - ・ 学校内の地域機能を確認 ⇒ ☆ **地域行事で使用**
☆ **地域の資料**



学校は地域の大事な財産であることがわかる

〇〇小学校のコミュニティ・スクールはこんな感じで…

- 「地域学校防災協議会」の延長でスタートしたから
 - ・委員に大きな変動なし ⇒ 意識共有が済んでいる
 - ☆ 委員=コーディネーター
- 学校運営協議会の開催は不定期 ※報酬は年額
 - ・必要なときに集まる ⇒ 委員は10分以内に参集可
 - ☆ 熟議を適宜開催
- 指定する側もされる側も手探りで始まったため…
 - ・教育委員会の関わり大 ⇒ ☆関係事務、情報共有
 - 担当指導主事との一体感



地教委とともにあるコミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールになって、いろいろやってみた!

- **教育課程を地域住民とともに編成** ※目標=持続可能…
 - ・ESDの視点を生かして ⇒ 取捨選択と改善
 - ☆キャリア教育の見直し
- **社会教育関係団体等との連携のあり方改革**
 - ・**目標共有の先**にあるもの ⇒ ☆参加から参画
のちに、**支援から協働**
- **様々な地域活動への学校(児童・教員)の関わり方改革**
 - ・**強制(的)から率先へ** ⇒ **地域活動の本音を知る**
 - ☆教員が住民の心に触れる



六次産業化を目指して ※ **子どもたちの主体的学び**
(**学校運営協議会が中心となった学びのネットワーク**)

子どもたちの活躍が地域にチカラを…

- 学習活動に参加（参画）する**地域住民に変化**
 - ・参加（参画）機会が拡充 ⇒ **学校の敷居↓**
☆**地域住民の意識変革**
- 地域に**教員以外とともに学ぶ機会が増える**
 - ・**同じ課題**に取り組む機会 ⇒ ☆**家族で一緒に学ぶ**
地域の大人とともに学ぶ
- **生き生きと学ぶ姿**は多方面から関心を集める
 - ・**マスコミ露出度↑** ⇒ ☆**新聞、ラジオ、テレビ**
地域住民の熱い思い



PTA活動の活性化 ※ **保護者の自分事意識↑**
(PTA活動に地域の関係団体との**ネットワーク**が…)

学校と地域の関わり方に変化～学運協での話題から～

- 学校と地域の連携の仕方が変わってきた
 - ・地域は学校の下請け?! ⇒ win & win
☆三方よし(地域もよし)
- 子どもたちの地域に対する見方が変わってきた
 - ・地域住民のお世話に ⇒ 地域とともに…
☆地域に恩返し
- 地域住民の活動の見えなかった部分が見えてきた
 - ・意外に知らない他の活動 ⇒ 一緒にやった方が…
☆地域活動に変化



地域活動の活性化 ※ 地域住民の自分事意識 ↑
(地域活動に新たなつながりが… = 横系)

コミュニティ・スクールを推進してみたわかったこと ～中学校の実践から～



教育課程（キャリア教育）を見直すことから始めると…

- これまでの学びを見つめ直す
 - ・学びの根幹に何を据えるか ⇒ 地域の実態を把握
☆**地域の持続可能性**
- 学校と地域の関わり方を見つめ直す
 - ・つながりの分野を明らかに ⇒ 片方向か双方向か
☆**依頼か率先か**
- 小学校の学びは中学校の学びに接続されているか
 - ・小、中の教育課程を確認 ⇒ ☆**各小学校の特徴（差）**
中学校の意識（責任）



9年間を貫くキャリア教育計画の必要性に気づいた

中学校区に1つの学校運営協議会にした理由は？

- それぞれの小での学びを最大限中の学びに生かしたい
 - ・中一ギャップの解消 ⇒ 安心して中学校の学びへ
 - ☆既習事項を整える
- 学校運営協議会の議論が地域課題の解決に一役買える
 - ・地域の特性を把握 ⇒ 地域ならではの教育課程編成
 - ☆小、中の実質的な連携
- 地域の子どもたちは地域で育てることを実感したい
 - ・小、中の温度差解消 ⇒ 責任転嫁をしない、させない
 - ☆学園のように



地域とともにある「学園」(のように)を目指して

熟議が歩むべき道を示してくれる

- **どんな子どもたちに育てたいか、どんな地域に…**
 - ・ 目標を共有することから ⇒ これまでにない経験
☆ 自分事意識
- **地域の中にある学びの場、学びの素材・人材を見直す**
 - ・ 実際の地図に落として ⇒ これまでの学び
☆ **これからの学び**
- **持続可能な地域を目指すために必要な学校での学び**
 - ・ **就業から起業へ** ⇒ **地域を俯瞰し、課題を発見**
☆ **課題解決のために大胆な変更**



起業家 (アントレプレナー) 教育を根幹に

※ **地域の実情を踏まえた決断**

生徒たちの真剣な学びが地域を動かす

- 学習活動に参加（参画）する地域住民に変化
 - ・参加（参画）機会が拡充 ⇒ 学校の敷居↓
☆地域住民の意識変革
- 地域に教員以外とともに学ぶ機会が増える
 - ・同じ課題に取り組む機会 ⇒ ☆家族で一緒に学ぶ
地域の大人とともに学ぶ
- 生き生きと活動する姿は多方面から関心を集める
 - ・マスコミ露出度↑ ⇒ ☆新聞、教育雑誌、テレビ
地域住民の熱い思い↑



PTA活動の活性化 ※ 保護者の自分事意識↑
(PTA活動にそのとき必要なプロジェクトチームが…)

学校と地域の関わり方に変化～自分事意識の高まり～

- 学校と地域の連携の在り方が変わってきた
 - ・地域は学校の下請け?! ⇒ とともに課題に向かう
☆互いに自己有用感↑
- 生徒たちの地域の大人に対する見方が変わってきた
 - ・大人の底力 ⇒ 識見と豊富な経験値、そして本気
☆尊敬できる大人=あこがれ
- 地域活動の見えなかった部分が見えてきた
 - ・地域住民とともに ⇒ 体験してわかる大変さ
☆地域の課題解決に一役…



地域活動の活性化 ※ 地域住民の自分事意識↑
(学校の教育活動↑ = 地域活動↑)

コミュニティ・スクール推進のコツ ～LRDCマネジメントサイクル(持論)の活用～

CSを円滑に推進するためにはいくつかのコツが…

- 学校運営協議会は合議制議決機関だから
 - ・この会の議論だけでは… ⇒ **熟議を諮問機関に!**
 - ☆地域の声を反映
 - ☆当事者意識の醸成
- 子どもたちが持続可能な社会の創り手となるために
 - ・教育課程を地域に開いて ⇒ **熟議を活用!**
 - ☆小、中の連携
 - ☆地域とともに…
- 子どもたち、教職員、保護者、地域住民が自分事として!
 - ・既存の取組を生かして ⇒ **目指す目標を共有**
 - ☆支援ではなく**協働**で
- CS導入を各種団体運営の見直しの好機と捉えて
 - ・何のために、だれのために ⇒ **課題解決型の運営に**
 - ☆他の団体との**コラボ**

マネジメントサイクルを一考…LRDCを意識したら

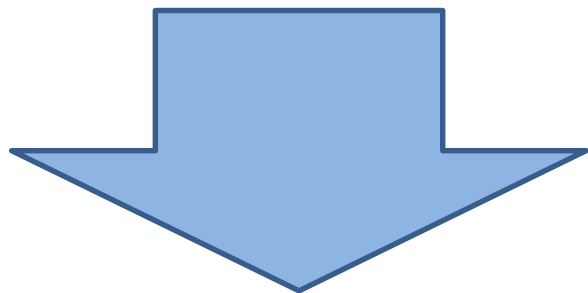
- 現状把握を大事にしたいから、**まずは俯瞰 (Look)** する
 - ・いろいろな角度から見たい ⇒ ☆調査
☆熟議
 - 俯瞰して見えた課題の解決には**既存のモノ、コトを生かす**
 - ・今あるものを大事にしたい ⇒ ☆改良 (Reform)
☆つなぎ方
 - 実際に**活動 (Do)** してみる
- ↓
- 活動の結果として生み出される**つながり (Connect)** に着目
 - ・これが見いだせなかったら ⇒ ☆改良しなおす
☆つなぎ方を変える



「熟議」

～つながりづくりに有効な話し合いの手法～

つながりづくりを目指すときに有効な話し合いの手法として…



熟議



- ① **多くの当事者（地域住民等）が集まって、**
- ② **課題について学習し、熟慮して討議**をすることにより、
- ③ 互いの**立場**や果たすべき**役割**への**理解が深まる**とともに、
- ④ 解決策が**洗練**され、
- ⑤ 個々人が**納得**して自分の役割を果たすようになる

という**プロセス**のこと 42

熟議は〇〇〇〇のために…？(例)

- Step1 目標を共有する(共感)
- Step2 課題を発見する(俯瞰)
- Step3 課題解決に向けて動く(協働)
- Step4 地域(活動)への橋渡し(波及)
- Step5 成果を共有するため(結束、絆)

熟議のイメージ
(登山)

共有された
目標

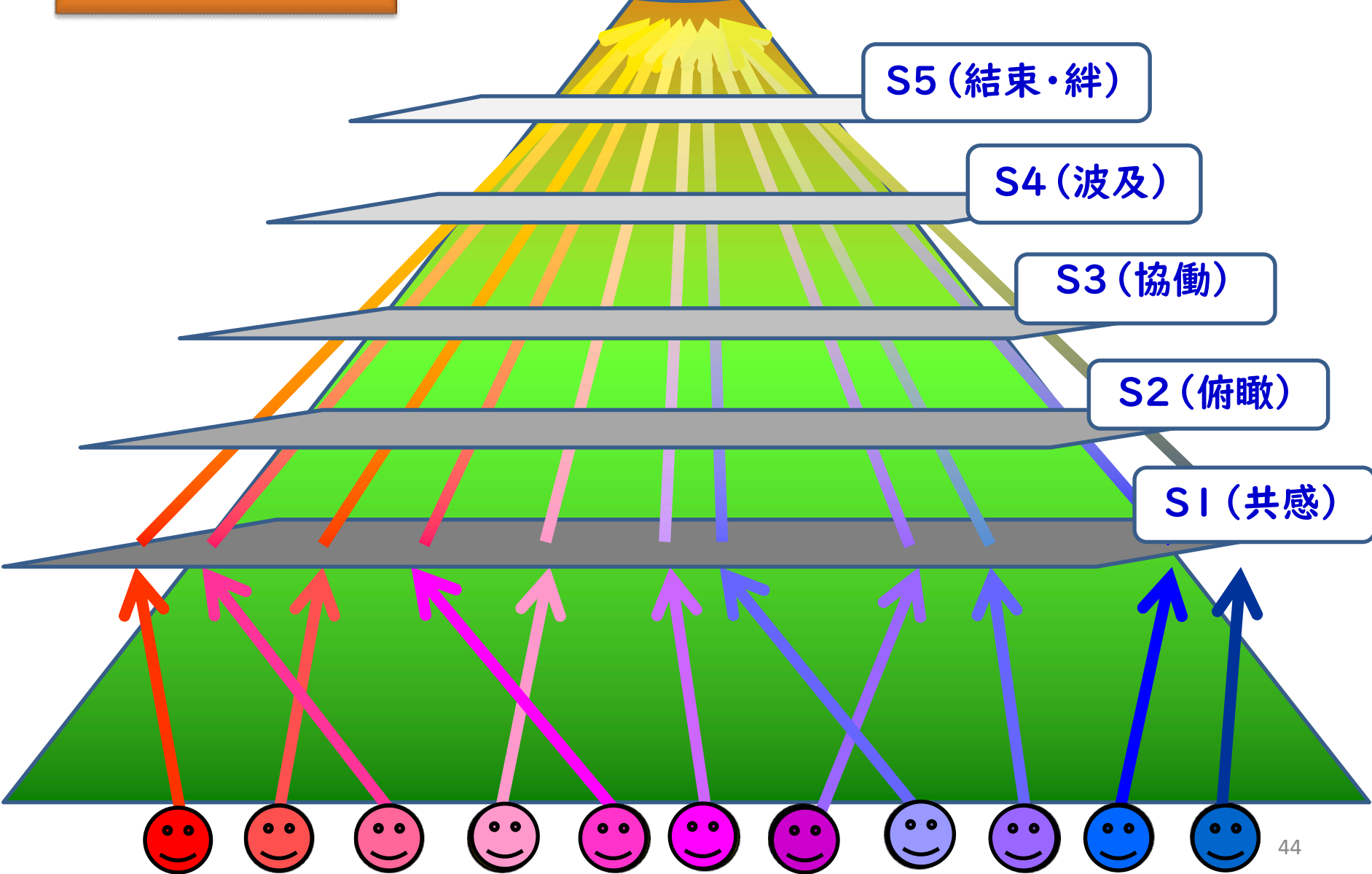
S5 (結束・絆)

S4 (波及)

S3 (協働)

S2 (俯瞰)

S1 (共感)



😊 熟議はなぜつながりづくりに有効なのか？

- 熟議参加前に、参加者が事前の準備をする必要はない
(身構えることをさせない)
- 話し合いに入る前に、参加者がスムーズに話せるように準備(アイスブレイク)をする
- ルール(マナー)の下で、安心して話せる場づくりをする
- 文章を書かせない(キーワード記載) ⇒ 説明する
- 結論を導き出し、なんらかの決定をみるものではない
- 参加者に何らかの行動等を強いるものではない
- 出された意見は、付箋等によって残るため、記録等をとる必要はない(主催側の事務簡略化)
- メンバーは固定されない
⇒ 自由闊達な議論が保証される

熟議を円滑にすすめる要件

- 何のために話し合うのかを共有（**テーマ**）
- 話しやすい雰囲気づくり（**アイスブレイク**）
- 新しい**気づき**やアイデアを生み出す
- 目指す**方向**を共有する（**立ち位置確認**）
- 決められた**時間の中で**話し合いを終える